

むかし、はたらきもので、ちょっと のんびりやの  
ろばがいました。

ろばのしごとは、まいにち おもい  
にもつをはこぶことです。

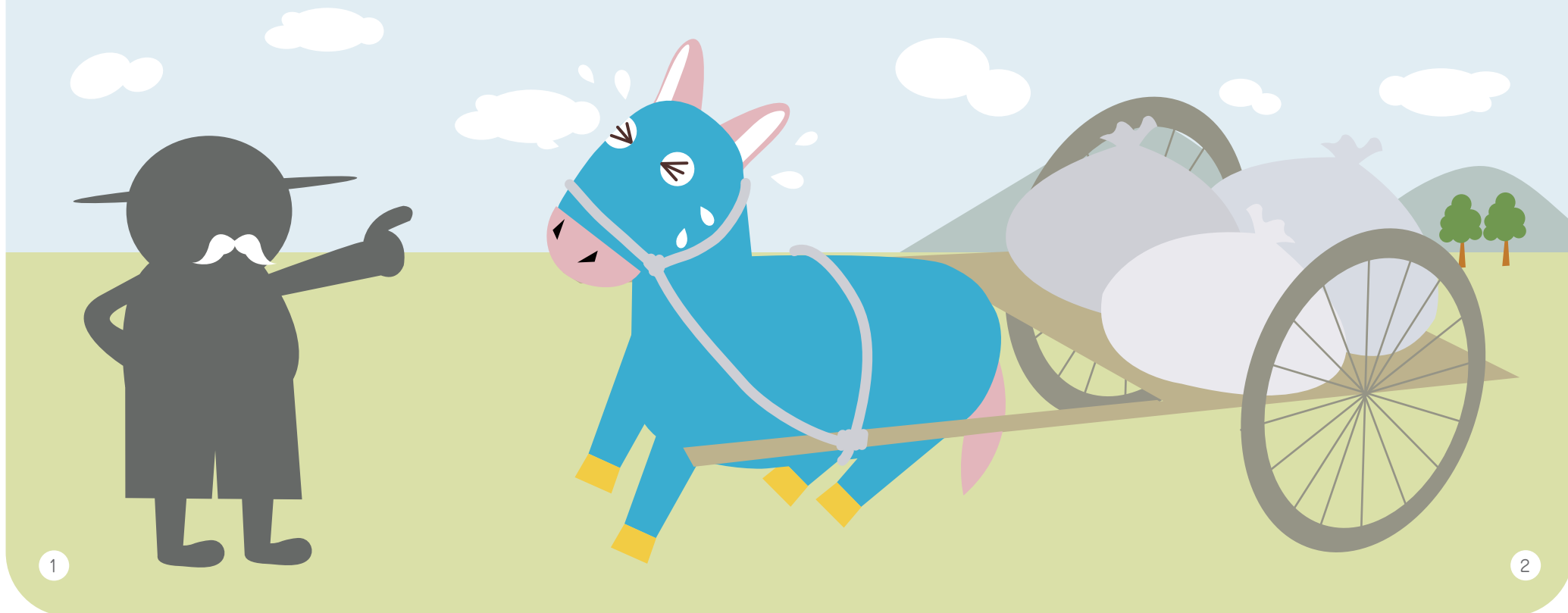
あるひ ごしゅじんが いました。  
「おまえは としをとっているから  
のんびりしていて にもつが まにあわないだよ。  
でていってくれ」

ろばをおいだしてしまったのです。

「どこに いこうかなあ」  
ろば は、かんがえました。

「ぶれーめんに いってみよう。  
あのまちの おんがくたいに いれてもらおう」

ろばは、ぶれーめんにむかって あるきはじめました。



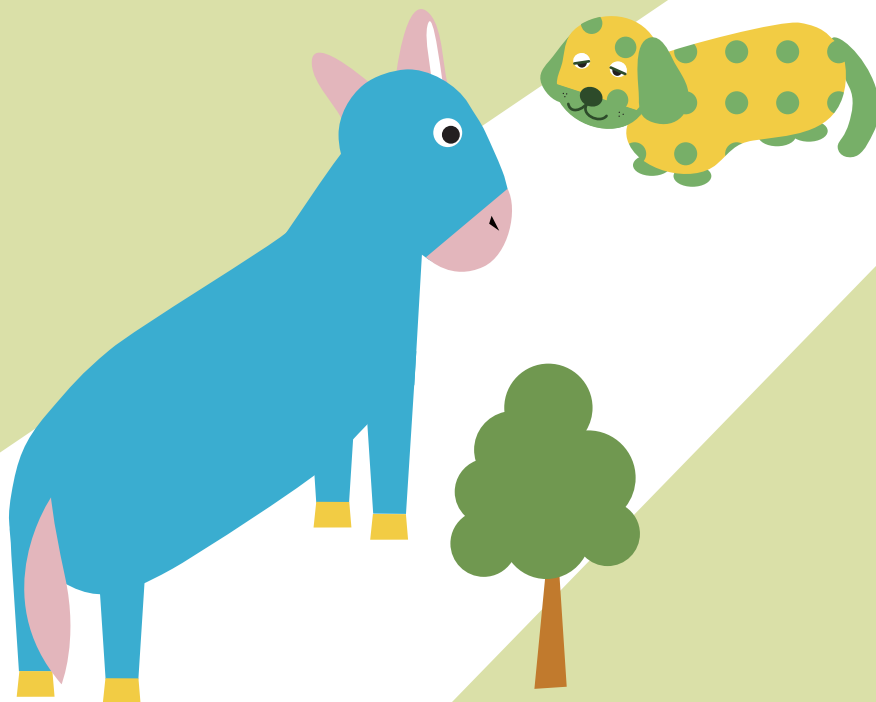
とちゅうで、いぬにあいました。

「どうしたんだい？」

「おれは せっかちで、としよりだ。  
おかげで、かりも しばいばかり。  
ごしゅじんに おこられて おいだされたのさ」

「それなら、ぶれーめんのおんがくたいに  
はいらないかい」

ろばにさそわれて、いぬもいっしょに  
いくことにしました。



こんどは、びしょぬれのねこに  
あいました。

「わたしは、としをとってしまって、  
ねずみをつかまえられるの。  
ごしゅじんがおこって、わたしをかわに  
なげこんだのよ」

「かえるところがないなら、いっしょにいこう」  
ねこも、ぶれーめんにも いくことにしました。

こけこっこー

3びきがあるいていと おんどりがなっていました。


「きれいなこえだね」

こけこっこー

「ぼくは、としをとったので、  
まいあさ ねぼうをしてしまいます。  
おこった ごしゅじんが、  
あした ぼくをすーぷにするといいました」

「いっしょに ぶれーめんに いこうよ。  
きみのうたがあれば、すばらしいおんがくが  
できるよ」

おんどりもいっしょに いくことにしました。



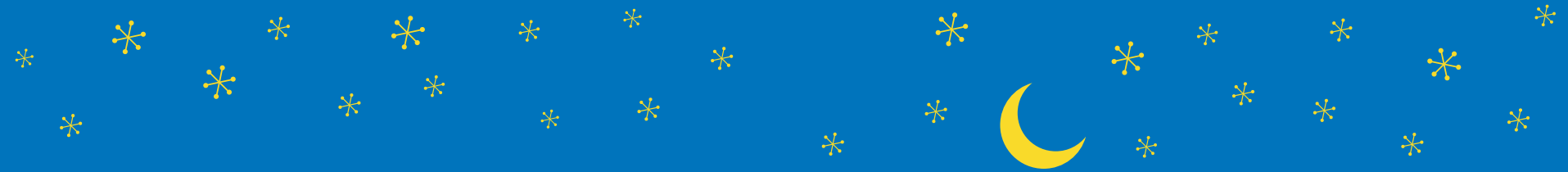
よるになり、4ひきは、もりのなかで  
ねむることにしました。

ろば と いぬは、きのしたで、  
ねこは、きのうえで ねむります。

「ぼくは、みはりをしますね」  
しっかりもののおんどりが、  
きのてっぺんに あがると

「いえのあかりが、みえますよ」  
みんなにしらせます。

そこで、4ひきは、  
あかりのいえをめざして、  
あるきはじめました。



あかりのいえに たどりつくと

いちばん せがたかい ろばが、まどから  
いえのなかをのぞきます。

「なにがみえるんだい？」  
せっかちないぬが、たずねます。

「どろぼうが、ごちそうをたべながら  
きんかを やまわけ しているよ」

ぐう～

「ごちそう」ときいたとたん、みんなのおなかが  
なりました。

「ぼくたちも、ごちそうをたべたいですね」  
おんどりがいうと

みんなで、どろぼうをおいだす しょうだんをはじめました。



「さあ、ぼくたちの さくせんをはじめましょう」

おんどりがいうと  
ろばが、まどわくに あしを かけました。

ろばの せなかに いぬが のります。

そして、いぬのうえに ねこが のぼりました。

さいごに ねこの あたまのうえに  
おんどりが とびのり、

「いち に さん！」

かけごえをかけると



ひひーん！  
わん、わん！  
にゃん、にゃーん！  
こけこっこー！

みんなで いっせいに おおきなこえをだし、  
まどから いえのなかへ とびこみます。

「ばけものだあー」

おどろいた だろぼうたちが、もりへ にげていったので、

4ひきは、ごちそうを おなかいっぱい  
たべることができました。

そして、  
ろばは、にわの わらのうえで、  
いぬは、とびらの うしろで、  
ねこは、だんろのそばで、  
おんどりは、やねのうえで、  
ねむることにしました。

ところが、





ひとりのどろぼうが、いえのようすをみようともどってきたのです。

「おや？だんろに ひ がのこっているぞ」

ひかったねこのめを だんろの ひ とまちがえ、ちかづいていきます。

ばりばり  
おどろいたねこが、どろぼうを ひっかきました。

「いたい」  
どろぼうは、にげようと とびらに むかいます。

ばりばり

かぶり

がぶり  
とびらのうしろにいた いぬが、かみつきました。

「たすけて」  
にわに にげた どろぼうを  
こんどは、ろばが けとばします。

さいごに、おんどりが おおごえでなくと、  
どろぼうは にげていきました。



もりにもどった どろぼうが、なかまに いいました。

「あのいえには、まじょがいて、つめでひっかくんだ。  
とびらからでてきた おそろしいおとこに かみつかれたし、  
にわの かいぶつには、けとばされた。  
やねのうえには さいばんかんがいて、  
『どろぼうを ここに つれてこい』と さけぶんだ。  
はやく ここから にげよう」

どろぼうたちは、にげていきました。

4ひきのどうぶつたちは、そのいえが きにいったので、  
ふれーめんに いくのをやめました。  
たのしいおんがくを かなでながら、  
そのいえで いつまでも なかよく くらしました。